

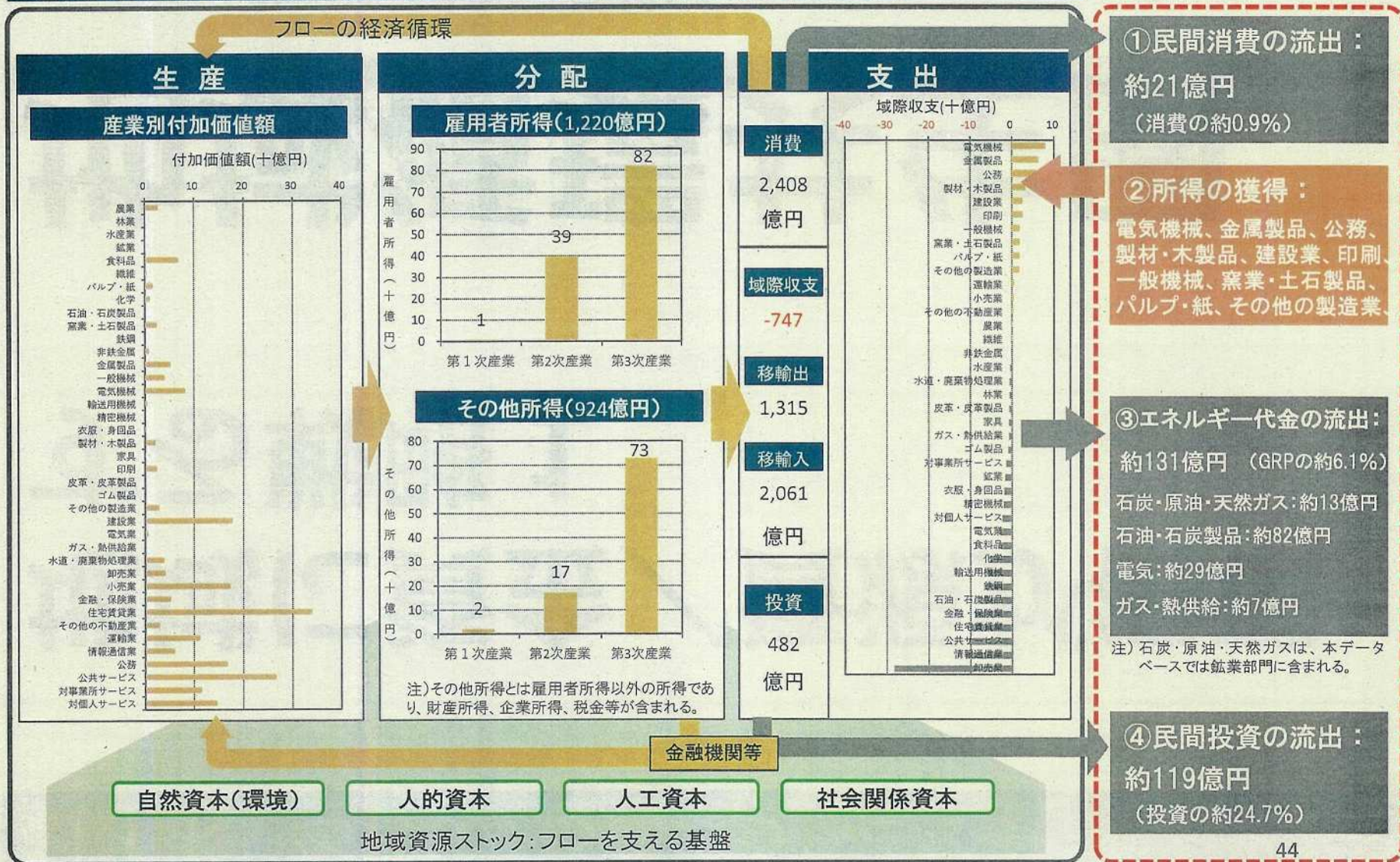
「未来」を見ながら進めるべき仕事

# 地域に資金／資源が循環 する戦略 1

## 地域循環共生圏

# 亀岡市における地域経済循環図（再掲）

亀岡市総生産(／総所得／総支出)2,144億円【2013年】



(出典) 環境省「地域経済循環分析自動作成ツール」より作成 (2019年1月31日)。

# 例えば再生エネルギー

京都府亀岡市の新電力、地元メガソーラーから電力  
買取 地産地消を本格化

2019年01月23日掲載

印刷 記事を保存 いいね! 16 ツイート



いいね! 0 ツイート LINEで見る 更新日: 2019年2月7日

## 亀岡市年谷浄化センター消化ガス発電事業に係る基本協定の 締結について

平成30年9月20日付けで公募を行いました亀岡市年谷浄化センター消化ガス発電事業について、審査の結果、次のとおり月島機械株式会社大阪支社を優先交渉権者として選定し、平成31年1月30日に基本協定の締結と本事業に関わる調印式を執り行いました。今後、亀岡市と月島機械株式会社は、再生可能エネルギーの有効活用促進と地産地消のエネルギー循環を目的に官民連携して本事業を推進してまいります。



# 環境先進都市に向けた複数の取組み



## (参考) 亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例

### 亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例

プラスチックは、その優れた汎用性、実用性から私たちの生活に密着し、私たちもまた、プラスチックの利便性に依存してきた。その結果として、多くの使い捨てプラスチックが私たちの暮らす環境を汚染する一因となり、海洋プラスチック汚染という地球規模の環境汚染へとつながっている。

そこで、亀岡市長は、亀岡市議会とともに「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を行い、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを実現するために、まずは、私たちの日常生活に最も密着したプラスチック製レジ袋の提供を禁止することで、プラスチックの利便性に依存してきた生活を見直すとともに、川、海へとプラスチックごみを流さない意識のつながりの構築、さらにはごみの減量に取り組んでいく方向性を示したところである。

そして、こうした取組が、環境、経済及び社会の統合的な成長を目指す「地域循環共生圏」の創造へと展開していくとともに、市民一人一人の郷土愛を育み、豊かな自然環境を活かした地域ブランドの確立につながっていくことを願っている。さらに、市民が良好な環境を次代に引き継ぎ、将来にわたって安心して暮らせる持続可能なまちづくりの実現を目指して、この条例を制定する。